

平成 25 年 4 月

## 日動協：実験動物技術研修会「日常の管理」開催のお知らせ

公益社団法人日本実験動物協会

(公社) 日本実験動物協会では、各種実験動物研修会を開き、実験動物に関する知識と技術の普及に努めております。

平成 25 年度の標記研修会「日常の管理」は実験動物の飼育、管理、営業、試験、研究および実験動物用飼料・器材などの販売に携わる方々、特に初心者の方々を対象として企画しており、動物の取り扱いなど実習も行います。日ごろ担当している業務のみならず、その周辺の業務にも目を向けていただくことにより、受講生各自が日常の飼育管理業務に対してより理解が深まるものと思います。

貴施設の該当する方々が多数参加されますようお願いいたします。また研修会参加者には、受講修了証を交付いたします。

### 記

日 時：平成 25 年 6 月 15 日（土）9：00～17：00

場 所：日本獣医生命科学大学 東京都武蔵野市境南 1-7-1  
JR 中央線 武蔵境駅下車南口徒歩 3 分

参加人員：先着 50 名

参加費：会 員：20,000 円＋消費税 1,000 円 計 21,000 円

賛助会員：25,000 円＋消費税 1,250 円 計 26,250 円

非会員：30,000 円＋消費税 1,500 円 計 31,500 円

参加申込方法：研修会参加希望者は、申込書（必ず 1 名 1 枚記入のこと）を用いて、FAX で申し込み願います。FAX：03-5215-2232

また、申込書と同様な内容を記載して頂ければ電子メールによる申込みも受け付けます。E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

申込受付期間：平成 25 年 5 月 31 日（金）まで

講義内容：1. 実験動物と動物実験の概論

2. 動物福祉に関する基礎知識

3. 飼育管理の基礎知識

4. 洗浄、消毒、滅菌の理論と実際

1) 洗浄、消毒、滅菌についての概論 2) 洗浄機と洗浄効果

3) 種々の消毒法とその効果 4) 消毒剤の種類とその効果

5) 種々の滅菌方法とその効果

5. 飼育管理の実際（実習）

1) 動物の取り扱い方 2) ケージ交換作業と動物の状態観察

3) 体重測定法 4) その他

受講の通知等：申込締切り後、受講票、振込み用紙および研修参加案内を送付します。参加費は通知受取後速やかに納入してください。

申込書送付先：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-5 九段ロイヤルビル 502 号室  
公益社団法人 日本実験動物協会  
(TEL 03-5215-2231、FAX 03-5215-2232)

E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

備考：申込書は日本実験動物協会のホームページからもダウンロードできます。

平成25年度実験動物技術研修会「日常の管理」申込書							
氏名				年齢	歳	男	女
勤務先	名称						
	所在地	〒					
	電話	内線				番	FAX
	E-mailアドレス						
書類送付先	〒					TEL	
実務経験	年						
受付月日	※	受付番号	※	参加費	※		

備考

- ① ※印欄は記入しないでください。
- ② 会員、賛助会員とは、あなたの所属する会社が当協会の会員、賛助会員であることをいい、学会並びに技術者協会の個人会員とは異なりますのでご注意ください。
- ③ 年齢、性別、実務経験は実習の際の班分けの参考に使用しますのでご協力ください。

当協会は本申込みにより得た個人情報は「日常の管理」研修会に関連した目的以外の使用は致しません。

FAX : 03-5215-2232

## 別紙

### 「日常の管理」研修会の受講者からこれまで寄せられたご意見、感想など

- ①とても中身の濃い充実した研修会だった。座学は広範な知識をカバーしていただき、既知の部分も含め復習を兼ねながら効率良く学ぶことができた。
- ②「滅菌・消毒」の講義内容は、勤務先の施設でも応用できるものであった。
- ③動物福祉に関する基礎知識はたいへん理解しやすかった。この講義を受講して実験動物を扱う上でのかえ方、心構えが変わったと思う。
- ④実験動物を扱う経験が浅いので実習はたいへん勉強になった。
- ⑤実習では「ある程度大胆に触れる方がよい」という指導は、これまで自分の意識にはない発想であり、よい経験になった。
- ⑥特に保定の実習を少人数で受けられたので、一つ一つの実技をじっくり考え実行できたことはありがたかった。
- ⑦順化された動物を扱った経験がなく、まずは自分に慣れさせることの大切さを実感した。
- ⑧日常の仕事に沿った講習内容だったので、自分の業務の見直しに役立った。
- ⑨日常業務では触れることのない動物を扱うことができよ経験になった。
- ⑩普段、動物実験の目的や社会的意義などをあまり意識せず、当然と思って行っていた作業が実はもっと高い意識を持つべき大切なことだとよく理解できた。
- ⑪講師には業務上の実験における悩みにも相談に乗っていただき感謝している。
- ⑫実験動物に関わる機器企業に勤務しており、基礎的な勉強のため参加した。職務上動物に触れる機会がなかったので実習はたいへん勉強になった。
- ⑬動物室のクリーンアップ方式では、薬剤の選択方法等の意見を聞くことができ有意義だった。
- ⑭安楽死処置についてよく考えさせられた。
- ⑮初心者を対象とした研修会は日動協ならではの企画なので今後も継続してほしい。